

□主な内容

【第 49 回EST創発セミナーin 陸前高田を開催します！】

11 月 29 日(金)に、EST 交通環境大賞で大賞(環境大臣賞)を受賞した岩手県陸前高田市で「新モビリティが導く誰もが気兼ねなく出かけできる脱炭素社会」と題して、第 49 回 EST 創発セミナーを開催します。皆様のご参加をお待ちしています！

<https://www.estfukyu.jp/sohatsu79.html>

【第 15 回 EST 交通環境大賞の募集を開始しました！】

地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰する EST 交通環境大賞の応募を受付中です。〔応募締切:2025 年 1 月 17 日〕

<https://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2024.html>

□目次

1. ニュース／トピックス

- キャッシュレス決済や運行情報のデータ化等の取組みを支援します！ ～MaaSの実装に向けた基盤整備事業の追加公募を開始しました～【国土交通省】
- 11月はエコドライブ推進月間です！ ～地球と財布にやさしいエコドライブを始めよう～【国土交通省、警察庁、経済産業省、環境省】
- 令和6年度「モーダルシフト等推進事業費補助金」三次募集の交付を決定しました【国土交通省】
- 北陸信越運輸局管内初！自動運転車(レベル4)の認可について【北陸信越運輸局】
- 自動運転車(レベル4)の車両認可を行いました【中部運輸局】
- 「萩交通圏」と「柳井交通圏」の営業区域において日本版ライドシェアを許可しました【中国運輸局】
- 鉄道の環境優位性の理解促進に向けた PR ポスターを掲出します【JRグループ・日本民営鉄道協会・日本地下鉄協会】
- 四日市中央通りにおける魅力的なまちなかの実現を目指して 2024 年度で 5 回目となる自動運転 EV バスを活用したモビリティ実証実験と四日市版 MaaS 実証実験を同時実施【四日市市、マクニカ、三重交通、三岐鉄道、シー・ティー・ワイ】
- 一宮市版 MaaS サイト「イッテミーヤ」の運用を開始しました【一宮市】
- AI オンデマンド交通運行アプリの提供を開始しました【長門市、SWAT Mobility Japan】

- AI オンデマンド交通“mobi”の社会実験を実施しています ～地域と共創した利便性の高い交通サービスの提供により、元気に暮らし続けられるまちへ～【早島町】
- ノルクを活用した実証実験(地域内移動)事業を実施しました【由布市】
- 路線バスの運転手不足に対応する IOWN や 5G ワイドなどを活用した路線バス自動運転実証を実施【千歳市、NTT コミュニケーションズ】
- 自動運転バスレベル 4(無人走行)の実証実験【上士幌町】
- 自動運転バスの実証を実施します【つくば市、KDDI、筑波大学、関東鉄道、アイサンテクノロジー】
- 2025 年度の自動運転レベル 4 実現に向け運行ルートを拡張し実証実験を実施 ～持続可能なまちづくり・富士山のオーバーツーリズム対策と脱炭素化へ～【富士吉田市、富士急行、富士急バス、BOLDLY】
- 自動運転サービス導入を見据えた実証実験を実施しました ～国内最長ルートを実行！ 2025 年の自動運転レベル 4 実装に向けた自動走行実証・異業種連携実証～【佐渡市、WILLER、ティアフォー、大成建設】
- 浜松自動運転やらまいかプロジェクト第 5 回実証実験に参加【浜松市、スズキ】
- 2024 年度多気町×明和町デマンドタクシー交通広域連携プロジェクトが始まります！【多気町、明和町】
- 自動運転・隊列走行 BRT 東広島市での実証実験を開始しました【東広島市、JR 西日本】
- 仙台市・七十七銀行・パーク 24 が連携協定を締結しました 脱炭素都市づくりに向け EV カーシェアを活用 ～仙台市域の EV 普及・シェアリングエコノミーの推進などで連携～【仙台市、七十七銀行、パーク 24】
- 駅探が自社 MaaS ソリューションと未来シェアが提供する「SAVS」とを融合した新サービス「MaaS Standard by 駅探 & SAVS」提供を開始しました ～MaaS 領域のスタンダードサービスを目指す～【駅探、未来シェア】
- 自動運転トラック輸送実現会議 ～L4 Truck Operation Conference～設立のお知らせ【T2】
- 自動運転トラックによる幹線輸送の実証実験に大王製紙が参加 ～持続可能な物流体制の構築による輸送の安定化を検証～【T2】
- 自動配送ロボットによる小売店や飲食店の商品配送サービス「楽天無人配送」を東京都晴海周辺で提供開始 ～スターバックス、スーパーマーケット文化堂、吉野家の商品を夜間・雨天時もロボットが毎日お届け～【楽天グループ】
- フランス初の電動航空機が試験飛行の実施を発表【AURA AERO】

## 2. イベント情報

- 第 49 回 EST 創発セミナー in 陸前高田〔東北〕【2024/11/29】
- 万博鉄道まつり 2024 with 観光 EXPO【2024/11/30-12/1】

- レインボーライド 2024【2024/12/1】
- 「デコ活しずおか」環境啓発イベント【2024/12/7】
- 「静岡県小学生バス無料デー」～バスに乗って、出かけよう～【2024/12/7-8】
- 公共交通マーケティング研究会 第11回例会 福井場所【2024/12/15】
- 国際興業バスまつり【2024/12/15】
- グリーン経営認証取得講習会(トラック・バス・タクシー事業対象)【2024/12/20】
- 地域公共交通コーディネーター・プロデューサー養成プロジェクト【2024/12/6～2025/1/20】

### 3. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 電動小型低速車に関する情報を掲載しています！
- 「運輸・交通と環境」を発行しています！
- 記事募集中！

---

## 1. ニュース／トピックス

●キャッシュレス決済や運行情報のデータ化等の取組みを支援します！ ～MaaSの実装に向けた基盤整備事業の追加公募を開始しました～【国土交通省】

国土交通省は、複数の交通モードにおけるサービスを1つのサービスとしてデジタルを活用して提供し、地域が抱える様々な課題の解決に資する重要な手段として、MaaS の普及を推進しています。交通事業者のデジタル化や、地域交通のキャッシュレス決済導入など、MaaS 実装に向けた基盤整備を図るための補助事業の追加公募を開始しました。公募期間は 11 月 29 日までです。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12\\_hh\\_000390.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000390.html)

●11月はエコドライブ推進月間です！ ～地球と財布にやさしいエコドライブを始めよう～【国土交通省、警察庁、経済産業省、環境省】

警察庁、経済産業省、国土交通省及び環境省で構成するエコドライブ普及連絡会は、行楽シーズンであり自動車に乗る機会が多くなる 11 月を「エコドライブ推進月間」として、シンポジウムやイベント等の積極的な広報により、エコドライブの普及・推進を図っています。また 2003 年に「エコドライブ 10 のすすめ」を策定し、2020 年に最終改訂を行い公開しています。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10\\_hh\\_000329.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000329.html)

●令和6年度「モーダルシフト等推進事業費補助金」三次募集の交付を決定しました【国土交通省】

国土交通省は、令和 6 年度「モーダルシフト等推進事業費補助金」三次募集について、計画策定経費補助 2 件の交付決定を行いました。国土交通省では、物流分野における労働力不足への対応や環境負荷の低減を図るため、物流総合効率化法に基づき、トラック輸送から鉄道・海運への転換（モーダルシフト）や幹線輸送網の集約化等の取組みを進めています。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01\\_hh\\_000840.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000840.html)

●北陸信越運輸局管内初！自動運転車（レベル 4）の認可について【北陸信越運輸局】

北陸信越運輸局は、塩尻市を運行する車両の自動運行装置について、道路運送車両法に基づく保安基準への適合性を確認し、走行環境条件の付与を行い、運転者を必要としない自動運転車（レベル 4）として認可しました。特定の条件下においてあらかじめ決められたルート内を周囲の車両や歩行者等を検知しながら、車両最大時速 35km で自動運転により運行することが可能になります。

<https://www.tb.mlit.go.jp/hokushin/content/000335753.pdf>

●自動運転車（レベル 4）の車両認可を行いました【中部運輸局】

中部運輸局は、多気町 VISON 構内を運行する車両の自動運行装置について、道路運送車両法に基づく保安基準への適合性を確認し、走行環境条件の付与を行い、運転者を必要としない自動運転車(レベル4)として認可しました。あらかじめ決められたルート内を周囲の車両や歩行者等を検知しながら、特定の条件下において車両最大時速 20km で自動運転により運行することが可能になります。

<https://www.tb.mlit.go.jp/chubu/press/pdf/gian2024102501.pdf>

●「萩交通圏」と「柳井交通圏」の営業区域において日本版ライドシェアを許可しました【中国運輸局】

中国運輸局は、山口県内の「萩交通圏」及び「柳井交通圏」の 2 か所の営業区域で、「日本版ライドシェア」を許可しました。「日本版ライドシェア」は、タクシー事業者の管理の下で、タクシーを補完する目的で、地域の自家用車や一般ドライバーを活用して、タクシーが不足する曜日や時間帯において、有償で運送サービスを提供するものです。

<https://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/content/000336488.pdf>

●鉄道の環境優位性の理解促進に向けた PR ポスターを掲出します【JRグループ・日本民営鉄道協会・日本地下鉄協会】

JRグループ・日本民営鉄道協会・日本地下鉄協会は、環境にやさしい鉄道への理解促進を図るため、上記3者で連携し、共通ロゴマーク「Switchi! SUSTAINABLE TRAIN」のデザインを中心にあしらったポスターによる告知を展開します。

この取り組みは、昨年度、JRグループと日本民営鉄道協会が、鉄道の環境優位性のPR強化に向けたコンセプトを策定し、共通ロゴマークとスローガンを定めてポスターによる告知展開を行ったことに始まり、今年度は、新たに日本地下鉄協会も参画して、3者による連名で実施するもので、本年11月以降、3者の構成各社の各駅などで期間を合わせてポスターを掲出します。

<https://www.mintetsu.or.jp/association/news/B2.pdf>

●四日市中央通りにおける魅力的なまちなかの実現を目指して 2024 年度で 5 回目となる自動運転 EV バスを活用したモビリティ実証実験と四日市版 MaaS 実証実験を同時実施【四日市市、マクニカ、三重交通、三岐鉄道、シー・ティー・ワイ】

株式会社マクニカ、三重交通株式会社、三岐鉄道株式会社、株式会社シー・ティー・ワイは、四日市市の中央通りにおける魅力的なまちなかの実現を目指して自動運転 EV バスを活用した実証実験を実施しています。今回で 5 回目となる自動運転 EV バスの実証実験では、新たなルートとして近鉄四日市駅西側の中央通り及び都ホテル・市立博物館を周回し、パーソナルモビリティの活用や四日市版 MaaS 実証実験を通して中央通り周辺における来訪者の回遊性向上、賑わいの創出を検証します。

<https://www.macnica.co.jp/public-relations/news/2024/146380/>

●一宮市版 MaaS サイト「イッテミーヤ」の運用を開始しました【一宮市】

一宮市は、スマホでバスのデジタルチケットを購入、i-バスミニやタクシーの予約、最適ルート探索など、一宮市でのスムーズな移動を実現し、外出の利便性を高める MaaS サイト「イッテミーヤ」の運用を開始しました。

<https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/machidukuri/chiikikoutsuu/1044086/1010058/1063924/index.html>

●AI オンデマンド交通運行アプリの提供を開始しました【長門市、SWAT Mobility Japan】

SWAT Mobility Japan 株式会社は 10 月 28 日から、長門市で実施されるオンデマンド交通の実証実験に AI オンデマンド交通運行アプリ「のろっちゃ AI」の提供を開始しました。

長門市では、市内を循環する路線バスとデマンド交通の乗降データを基に、AI オンデマンド交通導入に向けたデータ分析とシミュレーションが実施されてきました。シミュレーションの結果、路線バスが廃止された場合でも、路線バスの利用者をオンデマンド交通で取り込み、かつ利便性の高いサービスが提供できることがわかったことから、オンデマンド交通の実証実験を実施しています。「のろっちゃ AI」は、最先端の AI とルーティング・アルゴリズムを実装したアプリであり、配車手配や事前予約をすることができます。

<https://www.swatmobility.com/jp/news/swat-mobility-shan-kou-xian-chang-men-shi-deaiondemandojiao-tong-yun-xing-apuriwoti-gong-kai-shi>

●AI オンデマンド交通“mobi”の社会実験を実施しています ～地域と共創した利便性の高い交通サービスの提供により、元気に暮らし続けられるまちへ～【早島町】

早島町デマンド交通推進プラットフォームは、早島町で AI オンデマンド交通サービス「mobi」を活用した社会実験を実施しています。本サービスを導入することにより、外出機会の創出によるまちの賑わい創出や健康促進（健康寿命の延伸）、自家用車での移動・送迎から AI オンデマンド交通への転換による渋滞緩和・環境負荷軽減、また来町者の二次交通確保による商店や観光地の賑わい創出などを目指しています。

[https://www.town.hayashima.lg.jp/soshiki/machizukuri\\_kikaku/gyomu/doro\\_kotsu/kokyo\\_kotsu/4769.html](https://www.town.hayashima.lg.jp/soshiki/machizukuri_kikaku/gyomu/doro_kotsu/kokyo_kotsu/4769.html)

●ノルクを活用した実証実験（地域内移動）事業を実施しました【由布市】

由布市は、ユーバス（コミュニティバス）利用者の利便性向上に向け、ユーバスの効率的な運行や、地域内移動に関する利用ニーズの調査を実施しました。実証実験事業では、ノルク（グリーンスローモビリティ）を活用しました。

[https://www.city.yufu.oita.jp/newly/article\\_82523](https://www.city.yufu.oita.jp/newly/article_82523)

●路線バスの運転手不足に対応する IOWN や 5G ワイドなどを活用した路線バス自動運転実証を実施【千歳市、NTT コミュニケーションズ】

千歳市とNTTコミュニケーションズ株式会社は、「令和6年度千歳市自動運転実証調査業務」において、IOWNや5Gワイドを活用した路線バス自動運転実証を2024年11月に実施しています。

本実証は、地域公共交通機関のひとつである路線バスの運転手不足に対応する自動運転の社会実装実現に向けて行うもので、自動運転レベル2の実証となります。また乗客が自動運転バスに乗降する際は、バス停に固定した監視カメラの映像を高速大容量・低遅延のIOWN APNで遠隔監視室へ伝送します。自動運転バスから約50km離れた遠隔監視室へタイムラグが少ないリアルタイムな映像を伝送し、運転手や乗務員が不在の自動運転バスにおける「乗車時の安全確認」を検証します。さらに、自動運転バス走行時には5Gワイドを用いて、車両情報や映像によるリアルタイムでの遠隔監視を行う遠隔管制を実施します。

<https://www.ntt.com/about-us/press-releases/news/article/2024/1115.html>

#### ●自動運転バスレベル4(無人走行)の実証実験【上士幌町】

上士幌町は、10月28日から11月30日にかけて、期間中の月・木・土曜日に自動運転バスのレベル4(無人走行)の実証実験を行っています。自動運転走行のレベル4では、バス車内にオペレーターを配置しない状態での無人走行となります。

<https://www.kamishihoro.jp/entry/00006335>

#### ●自動運転バスの実証を実施します【つくば市、KDDI、筑波大学、関東鉄道、アイサンテクノロジー】

KDDI株式会社、筑波大学、関東鉄道株式会社、アイサンテクノロジー株式会社は、スーパーシティ型国家戦略特区に指定されているつくば市と連携し、内閣府から採択された「先端的サービスの開発・構築及び規制・制度改革に関する調査事業」の取組みとして、2025年1月から自動運転バスの走行実証を実施します。

KDDIはつくば市と連携して2027年度の自動運転バス定常運行を目指しており、2023年度は10人乗りのEVグリーンスローモビリティ車両を用いて、筑波大学内(約4km)に限定した走行実証を実施しました。2024年度の実証では、16人乗りのEVバスを用いて、既存の路線バス運行ルートとなる「つくば駅から筑波大学間(約10km)」を走行します。

[https://newsroom.kddi.com/news/detail/kddi\\_nr-295\\_3553.html](https://newsroom.kddi.com/news/detail/kddi_nr-295_3553.html)

#### ●2025年度の自動運転レベル4実現に向け運行ルートを拡張し実証実験を実施 ～持続可能なまちづくり・富士山のオーバーツーリズム対策と脱炭素化へ～【富士吉田市、富士急行、富士急バス、BOLDLY】

富士吉田市、富士急行株式会社、富士急バス株式会社、BOLDLY株式会社は、持続可能な地域公共交通の実現を目指し、自動運転EVバス運行の実証実験第2弾を実施しています。今回は、富士山の麓から五合目を結ぶ自動車道「富士スバルライン」ルートを新たに加え、11月10日から実証実験を実施しました。富士吉田市内の公道「富士みち」を中

心とした市内を循環するルートでの実証実験は、2025 年 1 月末から 2 月の実施を予定しています。

[https://www.fujikyu.co.jp/data/news\\_pdf/pdf\\_file1\\_1730776315.pdf](https://www.fujikyu.co.jp/data/news_pdf/pdf_file1_1730776315.pdf)

●自動運転サービス導入を見据えた実証実験を実施しました ～国内最長ルートを運行！  
2025 年の自動運転レベル 4 実装に向けた自動走行実証・異業種連携実証～【佐渡市、WILLER、ティアフォー、大成建設】

WILLER 株式会社、株式会社ティアフォーと大成建設株式会社は、新潟交通佐渡株式会社と連携し、佐渡市相川エリアにおいて、自動運転サービス導入を見据えた実証実験を実施しました。佐渡市では、2025 年の自動運転レベル 4 実装を目指しており、これまで 2022 年度に実証調査を、2023 年度に走行実証を実施しました。2024 年度は、2023 年度の実証結果を踏まえて自動走行の精度向上と事業面・社会受容性の醸成における最終調整を行います。

[https://www.willer.co.jp/news/press/2024/1108\\_6107](https://www.willer.co.jp/news/press/2024/1108_6107)

●浜松自動運転やらまいかプロジェクト第 5 回実証実験に参加【浜松市、スズキ】

スズキ株式会社は、2024 年 11 月 5 日から 2025 年 1 月 23 日まで、浜松市中央区庄内地区・山崎地区で実施される浜松自動運転やらまいかプロジェクト第 5 回実証実験に参加しています。

浜松自動運転やらまいかプロジェクトは、2016 年 9 月に浜松市、BOLDLY 株式会社、遠州鉄道株式会社、スズキの 4 者で連携協定を締結し、浜松市において自動運転技術を活用したスマートモビリティサービスの事業化に取り組んでいます。このプロジェクトは、地域移動の利便性向上と地域公共交通の課題解決を図るとともに、地域の産業振興を図る事を目的としています。今回の第 5 回実証実験では、利用者の予約情報をもとに運行ルート上の停留所に自動で停車する機能や、ソフトウェアの改善によるスムーズな運行について、3 か月間の長期実証実験を通して検証します。

<https://www.suzuki.co.jp/release/d/2024/1105/>

●2024 年度多気町 × 明和町デマンドタクシー交通広域連携プロジェクトが始まります！【多気町、明和町】

多気町は、行政・公共交通事業者・商業施設等の連携・協働により、多気町と明和町の医療・商業集積地域や交通結節点といった広域生活圏内での移動を双方のデマンド交通の連携により可能とすべく、実証事業として、両町で同一の AI デマンド交通システムを導入することで、広域連携の交通サービスを提供します。

本事業では、公共交通での移動に頼らざる得ない 65 歳以上の高齢者・障害者を利用対象とし、両町民の日常生活における行政間の移動を確保しつつ、医療・商業施設等との連

携やデジタル地域通貨「美村 PAY」の活用により、両町民の外出機会の促進につなげ、地域の活性化を促します。

<https://www.town.taki.mie.jp/life/soshiki/kikakuchosei/1/4229.html>

●自動運転・隊列走行BRT、東広島市での実証実験を開始しました【東広島市、JR 西日本】

東広島市と西日本旅客鉄道株式会社は、自動運転・隊列走行 BRT の実証実験を、JR 西条駅から広島大学東広島キャンパスを結ぶ県道・市道「ブルーパール」において、10 月 29 日より開始しました。2025 年 1 月上旬から中旬には、試乗可能な実証走行を実施予定です。

[https://www.westjr.co.jp/press/article/items/241024\\_00\\_press\\_AutodriveandBRTinHigashiroshima.pdf](https://www.westjr.co.jp/press/article/items/241024_00_press_AutodriveandBRTinHigashiroshima.pdf)

●仙台市・七十七銀行・パーク 24 が連携協定を締結しました 脱炭素都市づくりに向け EV カーシェアを活用 ～仙台市域の EV 普及・シェアリングエコノミーの推進などで連携～【仙台市、七十七銀行、パーク 24】

仙台市と株式会社七十七銀行およびパーク 24 株式会社は、「脱炭素都市づくりに向けた EV カーシェアリング事業に関する連携協定」を締結しました。本協定では、七十七銀行の二日町支店の敷地内にパーク 24 が「タイムズカー」の EV 車両を配備し、平日は仙台市職員および七十七銀行従業員の専用として利用し、休日・祝日については市民が利用できる、新しいカーシェアリングのモデルの 1 つとして実施します。

[https://www.77bank.co.jp/pdf/newsrelease/2024/24110602\\_renkei.pdf](https://www.77bank.co.jp/pdf/newsrelease/2024/24110602_renkei.pdf)

●駅探が自社 MaaS ソリューションと未来シェアが提供する「SAVS」とを融合した新サービス「MaaS Standard by 駅探 & SAVS」提供を開始しました ～MaaS 領域のスタンダードサービスを目指す～【駅探、未来シェア】

株式会社駅探と株式会社未来シェアは、連携を強化し、地域創生を目的に未来シェアが提供する「SAVS (Smart Access Vehicle Service)」と、駅探が提供する MaaS ソリューションを密に連携・パッケージ化した新たなサービス「MaaS Standard by 駅探 & SAVS」をリリースしました。本サービスでは、経路検索機能、多様な UI、自動音声予約機能を有し、シームレスな配車予約、LINE やマイナンバーカードの認証機能を提供します。

<https://prt-times.jp/main/html/rd/p/000000084.000009579.html>

●自動運転トラック輸送実現会議 ～L4 Truck Operation Conference～設立のお知らせ【T2】

株式会社 T2 は、物流 2024 年問題の解決に向けた仲間づくりと、業種の壁を越えた連携による迅速な自動運転トラックの社会実装及び普及推進を目的に、「自動運転トラック輸送



---

## 2. イベント情報

● 第 49 回 EST 創発セミナー in 陸前高田〔東北〕

日時:2024 年 11 月 29 日(金) 13:30~17:00

場所:ハイブリッド開催((奇跡の一本松ホール「ルーム 1」)+オンライン配信)

主催:国土交通省東北運輸局、陸前高田市、EST普及推進委員会  
(公財)交通エコロジー・モビリティ財団

<https://www.estfukyu.jp/sohatsu79.html>

● 万博鉄道まつり 2024 with 観光 EXPO

日時:2024 年 11 月 30 日(土)、12 月 1 日(日) 9:30~16:00

場所:万国記念公園「東の広場」ほか

主催:大阪モノレール株式会社

<https://bamtetsu.com/>

● レインボーライド 2024

日時:2024 年 12 月 1 日(日)

場所:青海 NO 地区(東京都江東区青海 1 丁目 1)

主催:GRAND CYCLE TOKYO 実行委員会

<https://grand-cycle-tokyo.jp/rinkai/outline/>

● 「デコ活しずおか」環境啓発イベント

日時:2024 年 12 月 7 日(土) 10:30~16:00

場所:静岡市葵区 青葉緑地(青葉シンボルロード)

主催:静岡鉄道(株)

<https://shizutetsu.co.jp/media/pages/news/2024/hp2024111402/4cf9de3577-1731566974/hp2024111402.pdf>

● 「静岡県小学生バス無料デー」 ~バスに乗って、出かけよう~

日時:2024 年 12 月 7 日(土)、8 日(日)

場所:静岡県内

主催:ハッピーライド in 静岡プロジェクト実行委員会

[https://www.shizuoka-bus-kyokai.or.jp/\\_pdf/1\\_happy.pdf](https://www.shizuoka-bus-kyokai.or.jp/_pdf/1_happy.pdf)

● 公共交通マーケティング研究会 第 11 回例会 福井場所【2024/12/15】

日時:2024 年 12 月 15 日(日)10:10~17:00

場所:福井駅周辺

主催: 公共交通マーケティング研究会

<https://kmktg12.peatix.com/>

●国際興業バスまつり

日時: 2024年12月15日(日)10:00~15:00

場所: 椿本チエイン埼玉工場駐車場内特設会場

主催: 国際興業株式会社、飯能市

[https://5931bus.com/news\\_details/id=busfes202412](https://5931bus.com/news_details/id=busfes202412)

●グリーン経営認証取得講習会(トラック・バス・タクシー事業対象)

日時: 2024年12月20日(金)13:30~16:30

場所: 公益社団法人和歌山県トラック協会 3階大会議室

主催: 国土交通省近畿運輸局

<https://www.tb.mlit.go.jp/kinki/content/000335222.pdf>

●地域公共交通コーディネーター・プロデューサー養成プロジェクト

日時: 2024年12月6日、20日、1月10日、20日

いずれも金曜日の18:00~21:10

場所: ハイブリッド開催((名古屋大学)+オンライン配信)

主催: 地域公共交通コーディネーター・プロデューサー養成プロジェクト事務局

<http://orient.genv.nagoya-u.ac.jp/kyoso.htm>

---

### 3. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<http://www.green-m.jp>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

[https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters\\_top.html](https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html)

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<https://mm-education.jp/mailmagazine.html>

- グリーンスローモビリティに関する情報を掲載しています！

[https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm\\_top.html](https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm_top.html)

- 「運輸・交通と環境」を発行しています！

(日本語版)

<https://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyou/index.html>

(英語版)

<https://www.ecomo.or.jp/english/tej.html>

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組や話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: [magazine@ecommo.or.jp](mailto:magazine@ecommo.or.jp)(担当: 岡本)

---

発行: 環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<https://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

[https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail\\_ecomo](https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo)

EST ポータルサイト: <https://www.estfukyu.jp/>